

戦争法案の強行採決とめよう！

安倍はたおせる！

次は7・5大集会&デモだ！

○戦争法の制定とめよう！

怒りの声が首相官邸を包囲するなか、集団的自衛権の行使を容認する閣議決定が行われた昨年の7月1日からまもなく1年。安倍政権はこの閣議決定に基づき、「憲法9条のもとで許容される自衛の措置」と称して、あらゆる武力行使を可能にするための安保法整備を強行しようとしています。

これに対し、「人生をかけて戦争をとめる！」「安倍のために死んでたまるか！」という激しい怒りが全社会にあふれ、沸騰しています。衆院の憲法審査会では与党推薦の学者までもが「集団的自衛権の行使は憲法違反」と表明せざるを得なくなりました。当初狙っていた6月中の衆院強行採決も粉碎し、「失敗すれば後がない」状況にまで安倍を追いこんできたのです。

戦争法案は必ず廃案にできる！ 安倍政権は絶対に倒せる！ 6・15国会包囲行動（上写真）の大成功に続き、7・5大集会&デモにすべての学生は駆けつけよう！



昨年7月1日付 朝日新聞号外

「7・1閣議決定」一周年 改憲・戦争・原発・首切りの安倍をと共に倒そう！
7・5大集会&デモ

- ◆沖縄・福島 of 怒りと団結して
基地・原発をなくそう
- ◆国境を越えた団結で
戦争を阻止しよう
- ◆労働者の団結で社会を変えよう

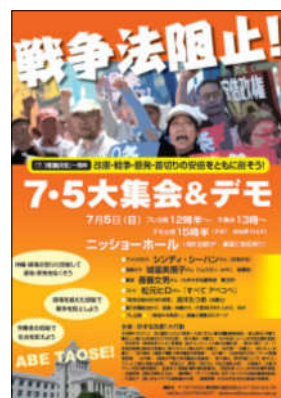
7月5日（日）
12:30～ プレ企画
13:00～ 本集会
15:30～ デモ出発

場所

ニッショーホール
（東京都港区虎ノ門
2-9-16、消防会館2F）

主催

許すな改憲！ 大行動



全学連

全日本学生自治会総連合（斎藤郁真委員長）

TEL 03-3651-4861 mail_cn001@zengakuren.jp http://www.zengakuren.jp

「7・5集会でお会いしましょう！」 シンディ・シーハンさんからのメッセージ

戦争反対のために国際連帯で重要なことは、ごくごく少数の人が、世界中で、戦争によって利益を得ているということです。そして、警察も地域社会も軍隊化しています。帝国主義の戦争で富を得ているごく少数の人たちがいる一方で、私たち大多数の人間が苦しんでいます。

私の息子は2004年にイラクで殺されました。それで私は、戦争で子どもを亡くしたすべての母親たちとつながっていきました。イラク、アフガニスタン、今ではイエメンやシリアなど世界のいたるところで、少数の人の利益のために母親たちが身を切られる思いをしています。

ですから、アメリカでも日本でも、協力して‘No More War’をかかげて闘わなければなりません。「戦争には参加しない」「戦争で富を得る人たちには利用されない」と。「金儲けと権力のための戦争」に、絶対に反対しましょう。政府の政策を断固拒否しなければなりません。「戦場にわが子を送らない！」「わが子とあなたの子を殺しあわせない！」と。世界全体が仲間だという自覚が重要です。いっしょに闘うことによってのみ、戦争をとめることができるのです。



シンディ・シーハンさん
Cindy Sheehan

2004年にイラクに駐留していた息子のケーシーさんを戦争で失ったことを契機に戦争の正当性に疑問を投げかけ続け、米軍撤退を求めてブッシュ政権に対する座り込み抗議行動などを展開してきました。‘Peace Mom’（「反戦の母」）として、ILWUなどの戦闘的労働組合とともにアメリカの反戦運動を牽引しています。

○ゼネストと国際連帯で社会を変えよう！

7・5集会はまさにここ日本において、労働者のゼネラルストライキで安倍政権を倒し、社会を変える闘いの出発点です。

安倍政権は18日、労働者に「一生派遣」「一生非正規」を強制する労働者派遣法改悪案を衆院で通過させました。



6・15 国会包囲闘争が大成功！

参加しての感想（首都圏学生・Aさん）

「とにかく皆さんの熱意に圧倒されました。特に、『戦争を止めるのは政治家ではなく現場にいる学生や労働者だ』と言われたことが印象に残っています。逮捕歴や公安の話には少々驚きましたが...(^_^;)」

僕ももっと政治や社会のことにアンテナを張り、主体的に行動していかなければならないんだと再認識でき、参加してとてもよかったと思います。」

労働者の団結を破壊し、戦争へと動員する攻撃は、日常において、現場においてすでに始まっています。

労働者・学生はこれに対していかに闘うべきか—そのことを、いま「パク・クネ政権退陣！」を掲げて激しい闘いにたちあがっている韓国・民主労総（約80万人の労働者を組織する労働組合）の仲間が示してくれています。「パク・クネの攻撃はますます激しいが、目覚めて立ち上がった労働者に勝った権力はない」（民主労総委員長、ハン・サンギョン氏）—こうした決意のもとで7月15日、4月24日に続く第2波のゼネラルストライキが準備されています。

「1%」の利益のための帝国主義戦争に絶対反対を貫き、それぞれの政府をうちたおすためにたちあがる。労働者・学生の国際連帯こそ、戦争をとめ、社会を根底から変革する力です。「国際安全保障環境が悪化している」「自衛のための戦争は必要だ」—こうしたブルジョアジーの論理に対し、真っ向からゼネストと国際連帯を掲げて闘おう！

すべての学生は、闘う労働者とともに7・5大集会&デモに集まろう！

「集団的自衛権閣議決定1周年」弾劾！

7・1 一日行動

○法政大学デモ

法政大学・市ヶ谷キャンパス

12時半集合、13時からデモ出発

○国会前抗議行動（座り込み）

15時～17時 衆議院第二議員会館前

【呼びかけ】全学連